

(2026年2月20日発表)

3月1日「片山廃寺跡から駿河国分寺跡へ-史跡名称変更の意義-」講演会の開催

登呂博物館は3月1日(日)に講演会「片山廃寺跡から駿河国分寺跡へ-史跡名称変更の意義-」を開催します。講師は駿河国分寺跡の整備委員会にも携わっていただいている京都大学名誉教授の上原真人氏です。

【趣旨・背景】

- ・国指定史跡駿河国分寺跡は奈良時代に整備された国分寺制度を考える上で重要な遺跡であり、発掘調査により建物の配置や痕跡、出土品などが明らかになってきました。また、長年にわたる発掘調査等の成果を踏まえ、2025年に片山廃寺跡から指定名称が変更されました。
- ・登呂博物館では、国指定史跡としての価値を伝え、保存と活用につなげるため、調査成果を紹介する冬季企画展「駿河国分寺展～片山廃寺跡から駿河国分寺跡へ～」を開催しています。(3月22日(日)まで開催)
- ・本講演会では、これまで国史跡片山廃寺跡の整備委員会の委員や委員長を務め、名称変更にも大きく携わっている上原氏に、氏寺と官寺という対比から古代寺院の歴史的理解についてご講演いただきます。

【講師】

京都大学名誉教授 上原 真人^{うえはら まひと}氏(専門:考古学)

【日時・期間】

2026年3月1日(日曜日) 13時30分～15時30分

【会場】

静岡市立登呂博物館(静岡市駿河区登呂五丁目10番5号)

【対象・人数】

事前申込のあった約50名

【取材について】

お車でお越しの場合は、博物館入口前の関係者駐車場をご利用ください。

【問い合わせ先】

観光交流文化局歴史文化課登呂博物館(静岡市駿河区登呂五丁目10番5号)、担当者:松原、渡邊
電話:054-285-0476